



イラスト 後藤 章

福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。
誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

若葉風がこずえを渡る爽やかな季節となりました。

陽ざしに、木々の緑に、いのちがみなぎっています。

あわただしい年度初めの4月から時は移り、夏鳥のツバメが、高齢者総合センターで5回目の巣作りを始めました。

着実に誠実な自然の営みをお手本にして市民サービスに努めたいと思います。

皆様には、どうぞ、お健やかに過ごしてください。

<紙面から>

後見係新サービス	・・・1～2ページ
自立生活サポート事業	
事業報告会	・・・2ページ
料理講習会・みどりの輪	・・・3ページ
お知らせ・リレーコラム	・・・4ページ

～地域社会で安心して暮らしていくために～ 在宅サービス課の新たなサービス 自立生活サポート事業

先月号では、今年度から開始する「つながりサポート事業」について掲載いたしました。本号では、同時に実施される「自立生活サポート事業(生活困窮者自立支援事業)」をご紹介します。

自立生活サポート事業の目的は、様々な課題を抱え生活に困窮している市民に対し、社会資源を活用して、「自立相談支援事業」、「住居確保給付金の相談・受付業務」、「就労準備支援事業」、「学習支援事業」等により、その自立を支援することです。福祉公社では、このうち、「自立相談支援事業」と「住居確保給付金の相談・受付業務」を武蔵野市より受託いたしました。

生活困窮に至る状況や事情は多様です。それらを十分に理解し、事業の利用者に寄り添いつつ、各々の利用者に生じている複合的な生活課題の解決を支援していく必要があります。福祉公社には有償在宅福祉サービスの実践を通して、身上配慮を包括的に行ってきたノウハウの蓄積があります。これらのノウハウを活用し、今後も市民の皆様が、地域社会で安心して暮らせるよう、全力で支え、取り組んでまいります。

自立相談支援事業

内容

相談支援員が、相談者の自立に向けた支援計画を作成し、関係機関との緊密な連携の上、相談者に寄り添う支援を行います。

対象者

現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが出来なくなるおそれのある方。

住居確保給付金の相談・受付業務

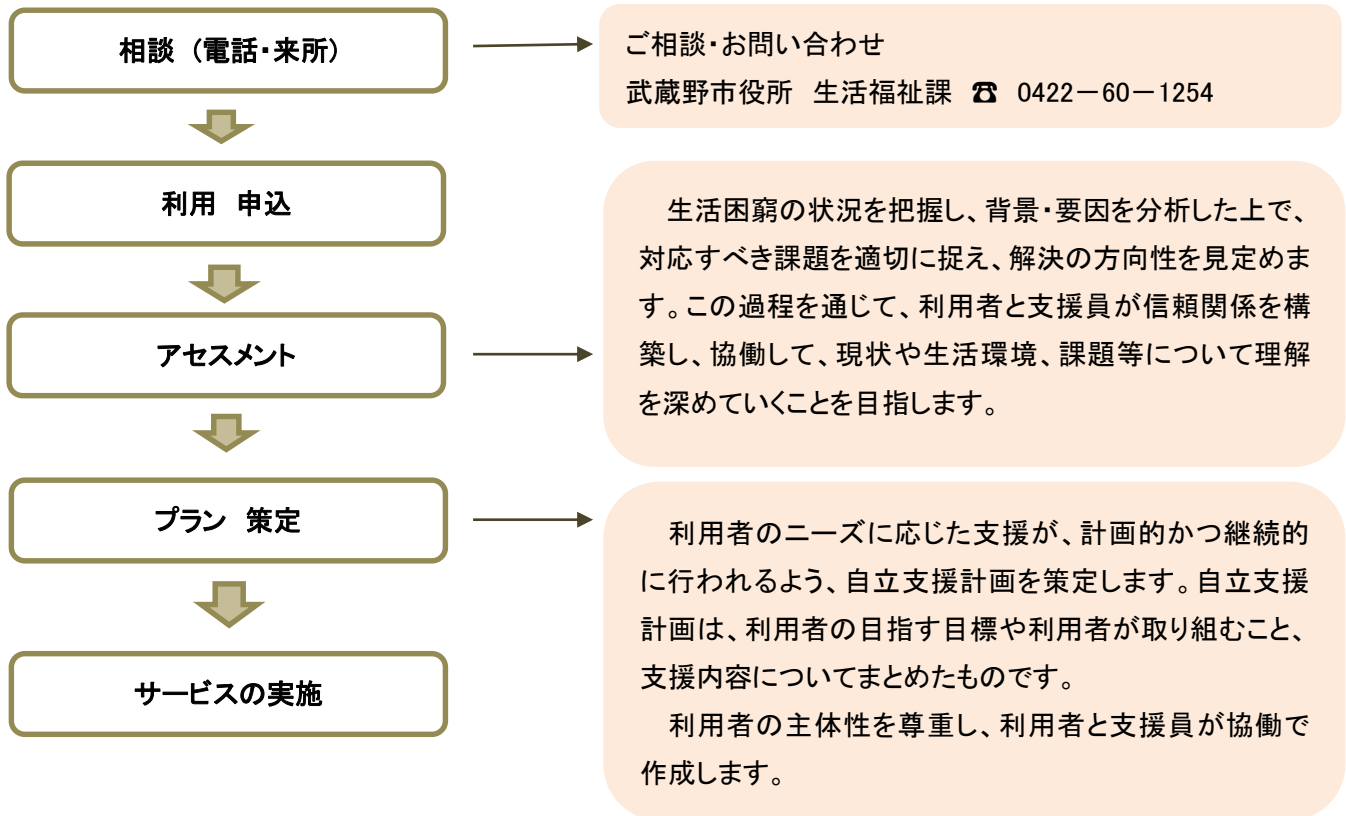
内容

離職により住居を失った、又は、失うおそれのある方に対し、家賃相当額の給付金を期限付きで支給し、住宅及び就労の機会の確保に向けた相談・支援を行います。

対象者

離職後2年以内かつ65歳未満の方で、現在住居がない、又は、住居を失うおそれのある方。

自立相談支援事業の手続の流れ



武蔵野市の場合、自立生活サポート事業は①自立相談支援事業、②住居確保給付金の相談・受付業務、③就労準備支援事業、④学習支援事業等で構成されています。利用者の生活環境や希望、能力、適性等を考慮して、適切に必要な事業に繋げ、自立支援計画に基づいて実施します。

①自立相談支援事業と②住居確保給付金の相談・受付業務は福祉公社が実施します。③就労準備支援事業は、社会福祉法人武蔵野が担当し、④学習支援事業は、シルバー人材センターが担います。

平成 26 年度事業報告会 ～ サービス向上のための取組み成果発表 ～

福祉公社では職員のサービス水準向上のために、各部署毎に必要な専門研修や勉強会等を定期的実施していますが、これと並行して公社内に設置した研修委員会が全体研修を開催しています。

年度初めの4月には理事長講話により、福祉公社を取り巻く社会状況や市の基本的施策、福祉体系における公社の立ち位置や経営方針の確認、職員に求められる業務遂行能力等、公社の理念や課題意識の共有を行います。

その後、月を追ってコンプライアンス、救命講習等の業務遂行上不可欠の研修を実施します。

平成 26 年度はこの他に4回シリーズで、「事業のサービスの質の向上と今後の事業展開のための研修」を実施しました。常に市民の皆様の期待に応えられるよう意識を高く持ち、事業課題や利用者ニーズを明確化して、これからの事業展開に必要な技術や手法を学びました。

その総決算として、活動報告会を3月23日に開催し、9部署がそれぞれ事業課題、問題解決のための取組成果を発表して、高齢者総合センターデイサービスセンターが最優秀と評価されました。

同デイサービスセンターの取組みは、「地域に開かれた親しみやすいデイサービス」を目指して「地域交流会を開催し、地域の未就学児と保護者をデイサービスの四季折々の行事に招き、ご利用者と世代間交流を行うことで、相互に好ましい影響があったこと、また閉じこもりがちな若者をボランティアとして受入れ、利用者・ボランティア・職員が勇気づけフォローしていくことで、自己肯定感をもって、社会復帰を目指し福祉の資格を得る勉強を始めた。」という内容です。これらにより親子ボランティアの会が発足し活動中です。また若者ボランティアも順次受け入れ、増加しています。

福祉公社のサービス提供上、職員は不可欠の「人財」です。今後もその育成・向上に努めてまいります。

北町高齢者センター料理講習会「介護の井戸端会議」

～ 疲れを癒す食事 ビタミンA・C・E（エース）をたくさん摂ろう ～

こころ温まる市民ボランティアの活躍と美味しい食事サービスが看板の北町高齢者センター。その食事のノウハウをご紹介します、介護に生かす料理講習会を、3月28日に中央コミュニティセンター調理室で開催しました。

講師はセンターで采配を振るう大矢管理栄養士です。現役の介護者、介護経験者計7名が集い、うち1名は男性でした。ビタミンA・C・Eの効果と栄養素の含まれる食材の講義を聞いた後、調理に取りかかりました。



メニューは、「鮭と蓮根のおろし揚げ丼 ブロッコリーのりんご酢和え カブと鶏ひき肉の豆乳スープ」です。

全員で協力して食材を洗い、切り、炒め、煮て味付けをしながら交流も深まり、試食会では自然に介護が話題となりました。介護の喜びやストレスをみんなで共有し、共感して、栄養だけではなく、介護生活の「楽しみとしての食事の大切さ」を確かめました。参加されたご感想を伺いました。

○ 今回の料理講習会はいかがでしたか？

減塩の量がわかりました。自宅での塩分は多すぎでした。

どの料理もおいしくて元気になりました。

介護の話もできてストレス発散になりました。

○ 男性参加者にも感想をお聞きしました。

自宅では妻と二人三脚で家事をしています。買い物は私の役目で、硬い野菜を切るなど協力をしています。なるべく機会があれば料理も勉強して、妻が困った時には役に立ちたいと思っています。



< 講座からの豆知識 >

ビタミンA：皮膚や粘膜の潤いを保つ働き レバー 緑黄色野菜

ビタミンC：疲労回復 風邪予防 レモン イチゴ ブロッコリー レンコン カブ

ビタミンE：新陳代謝を高める働きをする。大豆 チーズ かぼちゃ 鮭

A・C・Eを一緒にとると優れた抗酸化力を発揮します。ビタミンAが活性酵素を捕まえ、ビタミンEが攻撃する。ビタミンCはビタミンEを助けます。つまり、一緒に取ることで**肌が若返り、風邪の予防になり、心筋梗塞を予防し、精神の安定**にも効果があります。



家族介護支援教室 「みどりの輪」開催

今年度初めてのみどりの輪を4月22日に北町高齢者センターで開催しました。

今年度からは、高齢者総合センター在宅介護支援センター、同デイサービスセンター、北町高齢者センターの三部署が共同して開催する予定です。それぞれの特色を融合させて、介護に当たるご家族の皆様に、よりお役に立つ支援教室を開きます。

今回は初めておいでになった2名を含む6名のご参加がありました。皆様は、北町高齢者センター手作りの「桜の花入り水羊羹」を召し上がりながら和やかに交流され、意見交換は途切れることなく続きました。

初めての方も「母と同居して1年。当初はデイサービスに難色を示した母も今は楽しそうに通っています。介護する私も精神的に安定しました。」「遠方に住んでいる母。帰省時に物忘れが進んでいると感じ心配しています。これからどうしたら良いか考えています。」と積極的に発言されました。他の方も「デイサービスの雰囲気がよくわかりました。」とご評価くださいました。これからも家族介護者が孤立せず、お互いに支え合い、ケアの技量も向上するようなプログラムを企画し専門職が支えてまいります。なお、次回は6月24日、高齢者総合センターで13時30分から15時に開催いたします。お気軽にお越しください。お待ち申し上げます。

➡【問合せ先】 高齢者総合センター在宅介護支援センター TEL 51-1974 山保（さんぼ）・高山

公社からのお知らせ

老いじたく講座

～尊厳ある老後の構築のために～

日時 平成27年5月26日(火)13時30分から15時
場所 福祉公社 1階会議室
内容 老いじたくの基礎知識
問合せ・申込 在宅サービス課後見係 Tel 23-1165

北町高齢者センター 春のオープンガーデン

園芸ボランティアの皆様が丹精した鮮やかな花園🌸

日時 平成27年5月20日(水)10時から13時
場所 北町高齢者センター
問合せ・申込 上田 Tel 54-5300

高齢者総合センター コミュニティカフェ

地域の介護力を向上させるために、住民同士の顔の見える関係作りが大切です。是非おいでください。

日時 平成27年5月21日(木) 11時から14時
場所 高齢者総合センター(福祉用具展示 老いじたく相談 往年の名画による回想法 ラスク販売等)
問合せ 社会活動センター Tel 51-1975

職員リレーコラム 第12回 《いつでも どこでも 初心を忘れずに》 地域包括支援センター 堀田 千寿

私が福祉公社に入職したのは平成11年4月です。今年で丸16年が経ちました。

4月1日の辞令交付の日に市役所周辺の桜がとても美しく、「こんなきれいな桜並木がある町で仕事ができるなんて私は幸せだ。」と感じたことを今でも思い出します。最初に北町高齢者センターに配属され、ご利用者がセンターで楽しく安全に過ごせるようにサポートしました。その後、公社本部で有償在宅福祉サービスのソーシャルワーカーとして勤務し、個々のご利用者の人生の支援—葬儀や納骨まで行うような密な関わり—を担当しました。

昨年4月からは高齢者支援課地域包括支援センターで実務研修をしています。個々のご利用者とは密接に関わる事は少なくなりましたが、市全体の高齢者福祉施策を考えていく大きな組織にいて思うことは、「立場は違っても、様々な機関や職種の人たちが、一生懸命に高齢市民を支えるために頑張っている。」ということです。

桜は散ってしまいましたが、入職当時の気持ちを忘れず、高齢者の皆様のお手伝いができると思っています。

➡ 次回は 在宅サービス課 藤原祥央

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社 次号は平成27年6月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>